

屋久島移住・定住支援事業

(特定非営利活動法人屋久島移住ネットワーク・緑の風)

目 的

団塊世代の大量定年が始まり、各地方は移住者誘致に知恵を絞っている。本法人は、屋久島への移住・定住支援と屋久島地域と島外・都市間の交流を促進するため、屋久島移住セミナー及び移住体験ツアーの実施を計画した。

交流・定住促進の活動を通じて、世界自然遺産屋久島の環境保全と地域経済発展の両立を移住者と地元が協力して目指すことにより、地域社会への貢献をしていきたいと考えている。



平成19年11月 屋久島移住セミナー



平成20年1月 屋久島移住体験ツアー

活 動 内 容

(実施期間) 平成19年7月～平成20年2月
(実施地域) 熊毛郡屋久島町と東京都千代田区
(実施項目・内容)

1. 屋久島を知るセミナー，食材会等の交流会の開催
2. 定住を促進するための住宅及び生活情報の紹介（高齢者・障害者・子育て世帯等を含めた移住者向け）
3. 上記に関する広報・宣伝活動

(実施イベント)

- ・ 平成19年9月：第1回移住セミナー
- ・ 平成19年10月：第2回移住セミナー
- ・ 平成19年11月：第3回移住セミナー
- ・ 平成20年1月：移住体験ツアー

協働の状況

- 屋久島町
 - 地元区長
 - 地元不動産会社
 - 移住体験者
 - かごしま遊楽館（東京）
 - ふるさと回帰支援センター（東京）
- などの協力を得られるとともに、地元在住の有志と東京在住の有志によるスタッフ活動が行なわれた。

成 果

移住セミナー・体験ツアー及び広報の実施は、屋久島移住促進活動への興味を呼びおこし、多くの参加があった。セミナー3回の参加者合計は41名。体験ツアー参加者は16組・21名。内セミナー参加済みの方は9組・11名。セミナーを通じて、体験ツアーへの参加を決めた方が多かった模様。

また、地元自治体と連携して体験ツアーを行ったことで、都市部からの参加者及び地域社会の信頼を得られた。新聞記事や地元配布チラシに対し、終了後も問い合わせが続くなど、関心の輪が広がっている。

ツアー実施の結果として、参加16組中6組の長期滞在及び移住の実現が見込まれる。起業の計画も2例ある。その他、屋久島への移住を将来の夢として考えていた参加者が、数年内の移住実現に向けて計画を具体化し始めたという事例が数件見られた。

課 題

設立間もない本法人の悩みの種はスタッフが少ないこと。また、財政面の充実も欠かせない。力量不足を補うためにも、地元や移住体験者との連携を図って、移住希望者の便宜に供したい。

また、長期滞在や多地域居住、ロハスな移住など、田舎暮らしのニーズは多様化してきており、それらを調査分析する活動にも力を注ぎたい。

今後の展望

本法人は、屋久島に移住して情報・サービス事業や環境・教育・地域づくりのボランティア・社会起業などを始めたい方々と、地域、企業、研究機関、行政等を結び、活動のきっかけ作りやネットワーク作りなどの支援を行なっていきたいと考える。

今後も引き続き、移住セミナー・体験ツアーを実施する。セミナーは、参加者が自由に考え自由に発言できるワークショップ形式を取り入れていく。

これからの予定としては、地元NPO事務所で、島の写真のパネル展示や特産品の展示販売等を行い、移住者が交流できる場として利用していきたい。また、島内コミュニティサイトを開設し、ロングステイ施設情報やイベント情報などお役立ち情報を掲載し、移住者及び移住希望者間の情報交換や交流の場として活用したいと考えている。

団 体 情 報

〈団体名〉 特定非営利活動法人

屋久島移住ネットワーク・緑の風

〈代表者〉 理事長 富永 英男

〈主な活動内容〉

- ・ 屋久島移住の調査研究・宣伝広報
- ・ 屋久島移住セミナー・体験ツアーの開催
- ・ 屋久島の特産品の開発・普及
- ・ 屋久島の環境保全と環境教育
- ・ 屋久島での社会貢献事業の研究・開発

〈連絡先〉 〒891-4403

所在地 鹿児島県熊毛郡屋久島町原914

T E L 0997-47-3335

F A X 0997-47-2739

E-mail midorinokaze@iju.jp

<http://midorinokaze.iju.jp/>